

一般国道2号 岩国・大竹道路

事業費1,029百万円
(山口県分)

資料-3

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

岩国・大竹道路は、広島県大竹市から山口県岩国市内の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした延長9.8kmの道路です。

2. 事業箇所

広島県大竹市小方一丁目～山口県岩国市山手町

3. 令和8年度 予定事業内容

用地買収、改良工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

■観光振興の促進

○岩国・大竹道路を整備することで、国道2号の交通渋滞が緩和され、世界遺産である「宮島」から日本国指定名勝である「錦帯橋」間の移動時間を約21分短縮することが出来ます。これにより、相互地域間のアクセスが向上し、観光入込客数の増加により観光振興への寄与が期待されます。

○大竹市から岩国市間は、相互の結びつきが強く、通勤・買い物等の日常生活に伴う移動において、国道2号は通勤時間帯の混雑が激しいため、移動時間が読みづらい状況です。

○岩国・大竹道路の整備により、日常生活の移動における所要時間短縮や定時性の向上が期待されます。



【写真①】大竹市小方地区の施工状況



【写真②】和木町(岩国トンネル起点側坑口)の施工状況

